



チャイルドシートで守れる、こどもの命

こんなこと、していませんか？

不十分な取り付け

チャイルドシートが十分に固定されていないと、事故や急ブレーキのときに性能が発揮されず怪我をするおそれがあります。

正しく座らせていない

チャイルドシートのハーネスの締め付けが不十分だと、事故のときにチャイルドシートから飛び出して怪我をするおそれがあります。

危険

抱っこで乗車

衝突時にこどもの体重を支えきれず、車外に投げ出される危険性があります。

※ 時速40kmで衝突したとき、体重は約30倍の重量になり、体重10kgのこどもなら約300kgの重さになります。

大人用シートベルトの着用

小さなこどもが大人用シートベルトを利用すると、衝突時に首にひっかかったり、すり抜けてしまい怪我をするおそれがあります。



チャイルドシートの正しい使用方法

- こどもの成長に合わせ、体格に合うものを使用する。
- 座席に確実に固定する。
- なるべく後部座席で使用する(助手席エアバック装備の場合)。



※ やむを得ず助手席に設置する場合は、座席をできるだけ後ろに下げ、前向きに固定する。

6歳未満のチャイルドシート使用率

石川県 58.2% (全国平均 76.0%)

令和5年 警察庁・JAF合同調査

チャイルドシートを取り付けていても、こどもが嫌がるなどの理由で使用しないのでは意味がありません。

**大切なこどもの命を守るために、
チャイルドシートを正しく使いましょう！**

